

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

松山北高等学校中島分校  
学校番号( 22 )

評価実施日		令和3年2月10日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	勝田 昇	元中島町教育委員会教育長	
	萩野 雅久	松山市立中島中学校長	
	田口 栄子	福祉介護事業経営	欠席
	山本 祥平	自営業(農業)、元中島町消防団長	
	石丸 克彦	中島分校PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 令和2年度「数値目標」達成状況について</p> <p>(1) 進学及び就職の目標達成率100% 今年度、進学においては国公立大学の合格者はいないが、地元の松山大学に2名、聖カタリナ大学に1名合格している。短期大学や専門学校等に関しても、全員が第一希望にしている学校に進学している。就職においては、希望した生徒全員の就職先が決定している。少人数の強みを生かしたきめ細かい指導の成果と考える。</p> <p>(2) 年間出席率95%以上 1年生95.8%、2年生83.9%、3年生94.9%の出席率であった。2年生が他学年に比べると出席率が低いが、中学校在籍時に約7割の生徒が不登校を経験していることを考慮すると納得できる。</p> <p>(3) 家庭学習時間2時間以上 全体では目標の2時間はクリアしている。しかし、学年によっては目標を達成していない学年もある。学習習慣が身に付いていない生徒に対する支援、工夫が必要である。</p> <p>(4) 全商検定において、3級以上の取得率90%以上 2年生82.4%、3年生66.7%と目標を大きく下回っている。コロナで受験機会が大幅に減ったこともあるが、今後、目標達成に向けて努力してほしい。</p> <p>(5) 地域での奉仕活動年間8回以上 目標には達していないが、島内唯一の高校として活動してくれ助かっている。今後も、積極的に地域に協力してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・在籍する生徒の学力に幅がある。高い学力、意欲を持つ生徒に対して、特別補講等を実施し、学力向上と進学に対するモチベーションを高めていき、進路実績を築いていきたい。</li><li>・幅広いニーズに対応するため、一人一人に寄り添い、丁寧なマッチングを行うなどの指導を今後も充実させていきたい。</li><li>・今後も生徒一人一人の様子を観察し、生徒に寄り添った指導を心掛けたい。</li><li>・中学時代に不登校を経験した生徒が多く、その要因も様々である。指導方法や生徒が相談しやすい環境づくり、担任が孤立しない体制を整えていきたい。</li><li>・授業時は、学習支援員による支援により落ち着いて学習に取り組むことができているまた、ICTの活用等、課題の出し方、提出等の工夫を考え、学習に取り組む意欲や態度を育成していきたい。</li><li>・コロナ禍で、受験機会が減ってしまったことも要因の一つではあるが、甘えることなく、今後も高い目標に向けて取り組んでいけるよう、指導の工夫・改善に努めていきたい。</li><li>・コロナ禍において多くの行事が中止、延期となり活動の機会が減った中、生徒から地域のために何かしたいと声上がり、清掃ボランティアを実施した。今後も自ら動く姿勢を育てていきたい。</li></ul>
<p>2 今年度の最終評価について</p> <p>生徒、保護者の学校評価が昨年度より下がっている。課題を把握、分析して改善につなげてほしい。フェリー通学の生徒の態度もよく生徒指導が行き届いている。地域と密着した行事が多く一つの魅力となっている。もっとPRし魅力を発信してほしい。今後も地域に学校が存続できるよう努力してほしい。</p>	<p>島に唯一の高校であり、少子高齢化・過疎化が進んでいる中島地域の人たちからの期待は大きい。今後も、ボランティア活動などで地域に貢献するとともに、中島小・中学校との連携を強め、地域の児童生徒が進学先にしたい学校となるよう努力を重ねていきたい。</p>